

数値目標の進捗状況

数値目標(目標年度:平成32年度)		23年度	24年度	25年度	26~31年度	32年度 (目標年度)	
1	週1回以上スポーツをする市民の割合を3人に2人(65%)以上にします。	46.9%	48.7%	46.9%	⇒	65%以上	
2	新体カテストの結果において広島市の平均値が全国の値以上となる種目の割合を50%以上にします。	小学校	45.8%	77.1%	42.7%	⇒	50%以上
	〃	中学校	51.9%	37.0%	59.3%	⇒	50%以上
	〃	高等学校	59.3%	66.1%	59.3%	⇒	50%以上
	全体		51.0%	63.2%	51.5%	⇒	50%以上
3	国民体育大会に出場する広島県選手に占める広島市選手の割合を50%以上にします。	40.5%	48.0%	45.9%	⇒	50%以上	
4	トップス広島に加盟するチームの試合を年1回以上会場で観戦した市民の割合を50%以上にします。	37.2%	37.1%	37.0%	⇒	50%以上	

※ 数値目標1及び4の各年度の数値は、市民意識調査の結果によるものである。

〔数値目標の進捗状況を受けた対応について〕

数値目標1

23年度から24年度は率がアップしたものの25年度はまた下がっているため、市民意識調査の結果を分析したところ、24年度から25年度にかけて特に30代の方々の割合が約10%も減少していました。よって、この世代のスポーツ実施率アップへの取組を推進していく必要があると考えています。

数値目標2

小・中・高全体の数値で見れば、すでに目標を達成しています。

数値目標3

ジュニア選手の育成により、中学校、高校については広島市選手として国体に出場しても大学になれば関東や関西の大学へ進学してしまうため、広島市選手でなくなるということがあります。今後「ふるさと選手」のカウントについても検討の余地があるのではないかと考えています。

数値目標4

23年度以降、率が下降傾向にあるため市民意識調査の結果を分析したところ、職業別に見た場合、専業主婦の観戦率が約30%で変化がありませんでした。よって専業主婦の観戦率をアップする取組について検討する必要があると考えています。また、同時に、区役所と連携し、地域ぐるみでトップスの応援機運の醸成を図ることも重要であると考えています。